

泉区 孫育て講座 報告書

☆タイトル：「孫育て講座～孫との日々を楽しもう～」(全2回)

〈第1回〉イマドキの子育て～変わったこと、変わらないもの～

開催日時：平成26年10月29日(水) 10:00～11:30

会場：泉区地域子育て支援拠点 すきっぷ

講師：NPO 法人孫育て・ニッポン 理事長 棒田明子氏

参加者：15名

(内容)

参加者は、小学生のお孫さんがいらっしゃる方から、これから祖父母になる方、おばあちゃんと一緒にいらしたママも赤ちゃんと一緒に参加してくれました。また、当日たまたま双子のお孫さんを預かって、来館されていた祖母の方に声を掛け、一緒に参加してもらいました。

まず、前後の方と自己紹介などをして場が和んだところで、講義に入りました。

講義はパワーポイントと資料を使い、「現代の親、働く女性、社会が抱える問題」では、自らの子育て期を振り返りながらお話を聞いている方が多かったように感じます。

「イマドキの子育て・孫育てクイズ」では、○か×かの二択のクイズで、白湯や果汁より母乳をあげる、泣いたらすぐに抱っこしてあげるなど、育児について昔と変わった事を知り、その中で孫とどのように関わるかという話にうなずいたり感心したりして、それぞれ学ぶことが出来たのではないかと思います。パパママにとっては第1子でも祖父母にとっては初めての孫ではない場合、祖父母が孫を雑に扱ってしまう事で、第1子のパパママとの間に生じるギャップに注意が必要というお話もありました。

現代の少子化・核家族化の中で、祖父母世代にお願いしたいことは、「他孫(たまご)」とも関わりを持ってほしい、親以外の人と関わる経験、褒められる体験が子供の育ちにとって大切だというお話をさせていただきました。



泉区 孫育て講座 報告書

☆タイトル：「孫育て講座～孫との日々を楽しもう～」(全2回)

〈第2回〉手作りおもちゃと座談会

開催日時：平成26年11月6日(木) 10:00～11:30

会場：泉区地域子育て支援拠点 すきっぷ

講師：NPO 法人孫育て・ニッポン 理事長 棒田明子氏
拠点スタッフ

参加者：10名

(内容)

2回目は最初に、腕の曲げ伸ばしをしながらグーパーをする「脳トレ体操」で心と体をほぐしてから、今回のメインのおもちゃ作りを行いました。作るのは、すきっぷの居場所でも大人気の「ウォーターボトル」です。

スタッフの説明で、水の色や濃さ、中に入れるビーズやテープの色をあれこれ悩み、洗濯糊の量でビーズの落ち方が変わると聞いてはまた悩み、材料選びから真剣な様子でした。ご夫婦で参加して下さったおじいちゃんの手際の良さに一同感心しながら、お隣の方とおしゃべりをしたり、協力をしたり、和気あいあいとした雰囲気、あっという間に時間がたってしまいました。作ったウォーターボトルの年齢に応じた遊び方をスタッフが紹介すると、「なるほど…」と声が上がりました。予備の材料を持ち帰り、「家でもう一つ作ります」とみなさん意欲満々でした。

休憩をはさみ、グループごとに、お茶を飲みながら自己紹介やお孫さんとの話、困っていることなど、ざっくばらんに話していただきました。他の参加者の方(先輩じいじやばあばの話)の経験談を聞いたり、棒田先生の助言に納得したり、スタッフも多くのことを学ぶ良い機会になりました。この講座一度きりではなく、祖父母の方にもお孫さんと一緒に拠点に足を運んでもらい、講座で知り合った方々のつながりが続くと良いと思いました。

(座談会での話)

- ・同居していると生活時間の違いに世代間のギャップを感じる。
- ・テレビやゲームとのつき合い方。⇒テレビに子守りをさせない
- ・孫に「LINE」の使い方を教えてもらうなど、コミュニケーションしている。
- ・「遊んでくれる人」と思われているが、どんな遊びをしてあげたら良いか？
⇒歩けるようになった子なら「一緒に散歩」を。

